

プログラム名	アフガニスタン・パキスタン人道支援事業				
事業名	ヘラート州及び周辺地域における保健・医療従事者養成のための環境整備事業				
開始日	2013年1月1日	終了日	2014年1月31日	日数	396日間
団体名	特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン		担当者名	平井さつき	

JPF 助成総額	79,871,334 円	区分：政府支援金 79,871,334 円、民間資金 円			
支出額	76,355,190 円	95.6%		日本国内 (都市名)	アフガニスタン
直接事業費	64,465,683 円	(84%)		国際スタッフ	1.7 役
間接事業費	11,889,507 円	(16%)	現地スタッフ		3.1 人役
返還金額 ※雑収入(ドバイの銀行口座の利息)含む	3,646,912 円	4.6%			

事業目的	ヘラート州及び周辺地域住民の保健状態を改善するために、保健・医療従事者養成機関の整備を行う。	
事業の成果 (概要)	ヘラート州ヘラート市に安全基準を満たした質の高い、ヘラート保健科学院 (IHS, Institute of Health Sciences) の新校舎が完成した。新校舎は講義室 4 室、実習室 2 室、講義・実習兼用の部屋 1 室、事務室、図書館、トイレ 4 か所を有し、これにより、新規学生および現役の保健・医療従事者への養成研修の実施とこれまでヘラート州では実施できなかった薬剤師と臨床検査技師の養成プログラムの開講が可能になった。	
	成果の達成度とそこから得た学び	裨益者 (誰が、何人)
1. 保健・医療従事者養成の場を確保するための活動	<p>校舎建設の施工監理を徹底し、質が担保された校舎を建設することができた。また、建設許可を取得するプロセスを通して様々な行政機関との連絡調整を行ったことで各機関との協力関係を築くことができ、全体を通して概ね計画通りに事業目的を達成することができた。しかし一方で、MoU の締結、各行政機関からの許可の取得、建設業者の選定に予定よりも時間を要した。また工程管理委員会の設置と、それに伴う関係者全員での合同モニタリングは叶わなかったことから、本事業のような行政機関関係者をはじめ多くのステークホルダーと関わる事業において、綿密な連絡・調整を前広に行うことが必要かつ大変重要であることを再確認し、新規事業に教訓を生かしていきたい。</p>	<p>直接裨益者： 助産師・看護学生 108 人、薬剤師、臨床検査技師学生 25 人、教師 24 人、現役助産師・看護師 460 人 間接裨益者： アフガニスタン西部地域 (Herat 州、Badghis 州、Ghor 州) 住民約 550 万人</p>